

平成 28 年 11 月 2 日

内閣官房
内閣府
外務省
防衛省

柴山内閣総理大臣補佐官の南スーダン訪問（概要）

現地時間 10 月 31 日（月）から 11 月 1 日（火）にかけて、柴山内閣総理大臣補佐官は南スーダンの首都ジュバを訪問し、キール大統領、タバン・デン第一副大統領及びロイ国際連合南スーダン共和国ミッション（UNMISS）事務総長特別代表と会談を実施するとともに、我が国派遣施設隊の活動状況や現地の情勢を視察したところ、概要は下記のとおり。

1 南スーダン政府首脳との会談

（1）キール大統領との会談（於：大統領官邸）

キール大統領との会談では、外務・国際協力大臣等の閣僚 4 名が同席した。

冒頭、柴山補佐官より、安倍内閣総理大臣の親書を手交し、総理からのメッセージとして、南スーダンの平和と安定に向けた南スーダン政府及び UNMISS の努力に対し、日本は引き続き貢献していくとの意思を伝えた。

これに対し、キール大統領からは、派遣施設隊のインフラ整備や JICA のプロジェクトを始めとする日本のこれまでの協力に対する謝意が示されるとともに、今後の変わらぬ貢献に対するコミットメントを歓迎する旨の発言があった。

続けて、柴山補佐官から、UNMISS に派遣している派遣施設隊を始めとする日本の支援活動への引き続きの協力を要請した。また、柴山補佐官から、我が国としては、南スーダン政府と UNMISS との協力関係が更に強化されることを期待する旨伝えけるとともに、キール大統領が包摂的なアプローチを重視している点を評価しつつ、引き続き、同大統領の指導力を期待する旨を伝えた。

その他、最新の現地情勢や今後の統合プロセス等についても意見交換を行い、キール大統領からは、衝突解決合意の履行及び統合プロセスに対する強いコミットメントを確認するとともに、今後とも、日・南スーダン関係の一層の発展に向けて、日・南スーダン間で緊密に連携していくことで一致した。

（2）タバン・デン第一副大統領との会談（於：第一副大統領執務室）

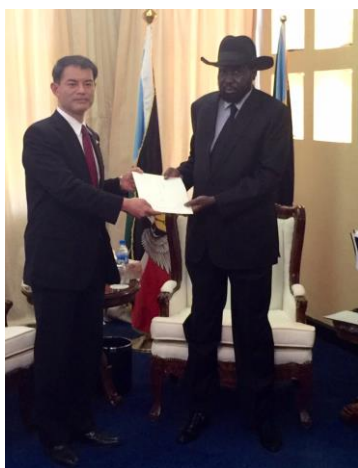
冒頭、柴山補佐官より、総理からのメッセージとして、南スーダンの平和と安定に向けた南スーダン政府及び UNMISS の努力に対し、日本は引き続き貢

献していくとの意思を伝えた。

これに対し、タバン・デン第一副大統領からは、自衛隊やJICAによる日本のこれまでの協力に対する謝意が示されるとともに、今後の変わらぬ貢献に対するコミットメントを歓迎する旨の発言があった。

続けて、柴山補佐官より、UNMIS Sに派遣している派遣施設隊を始めとする日本の支援活動への引き続きの協力を要請した。更に、柴山補佐官から、我が国としては、南スーダン政府とUNMIS Sの協力関係が更に強化されることを期待する旨を伝えるとともに、キール大統領が包摂的なアプローチを重視している点を評価しつつ、これにタバン・デン第一副大統領が協力していくよう慫慂した。

その他、最新の現地情勢や今後の統合プロセス等についても意見交換を行った。タバン・デン第一副大統領からは、衝突解決合意を含む統合プロセスに対する強いコミットメントを確認した。



キール大統領との会談



タバン・デン第一副大統領との会談

2 ロイUNMIS S事務総長特別代表との会談（於：国連ハウス地区）

冒頭、柴山補佐官より、派遣施設隊への支援に感謝するとともに、11月末に退任予定のロイ特別代表の取組に敬意を表した上で、派遣施設隊の活動期限を来年3月末まで延長した旨を説明し、南スーダンの平和と安定に向けたUNMIS Sの努力に我が国が引き続き貢献していくという総理のメッセージを伝達した。また、柴山補佐官から、後任の特別代表からも同様の支援、配慮を要請するとともに、引き続き、UNMIS S、そして南スーダンに積極的に貢献していくという我が国の意思を表明した。

ロイ特別代表からは、派遣施設隊の活動について高い評価と心からの感謝の

意が伝えられた上で、同施設隊の活動が当面継続することとなったことは、今後、UNMISSがマンデートを着実に遂行する上で有意義であるとして、歓迎の意が表明された。また、UNトンピン地区及びUNハウス地区、更にジュバ市内において派遣施設隊のニーズが数多くある旨の認識が示された。



ロイUNMISS事務総長特別代表との会談

3 南スーダン派遣施設隊視察（於：国連トンピン地区）

柴山補佐官は、首都ジュバの国連施設内に所在する派遣施設隊の宿営地において、中力（ちゅうりき）派遣施設隊長より部隊の活動状況や現地情勢について報告を受け、宿営地内を視察した。

また、国連施設内外において、隊員が施設活動を実施している活動現場を視察し、厳しい環境の下、積極的平和主義の実践のため、我が国を代表して任務に精励する隊員への激励を行った。



派遣施設隊活動視察（UNトンピン地区）



派遣施設隊活動視察（UNハウス地区）

4 現地情勢等

柴山補佐官は、市民によく利用されているジュバ市内の市場を視察し、女性・

子供を含む市民が平常に行き交う様子を確認するとともに、商店等において市民生活を含む市中の現況を視察した。またUNハウスにおいて、国際機関の邦人職員から、ジュバでの勤務、生活状況につき説明を受けた。更に、南スーダン大統領、第一副大統領、UNMIS S特別代表、在南スーダン日本大使及び施設派遣隊長との意見交換を通じ、南スーダンの地域によっては、楽観できない状況ではあるものの、ジュバ市内は比較的落ち着いている様子を改めて確認した。



国際機関邦人職員からの説明



ニャクロン市場視察

(了)